想像を創造する

令和3年度入学生
学校案内

大阪府立
佐野工科高等学校

佐野工科高等学校　は

① 楽しくもの創りが学べる！

⇒　創造性あふれるもの創りに向けた学びができる
⇒　好きなこと・興味のあることを学習

② 様々なチャレンジができる！

⇒　ものづくりの大会にチャレンジすることができる
⇒　アイデアコンテストなどに出展、大会での発表ができる
⇒　電気工事士など、国家資格も取得できる

③ 落ち着いた学校生活が送れる！

⇒　社会人力の育成を目ざした厳しく丁寧な生活指導
⇒　いじめのない、安全で安心な学校づくり

④ 自分に合った就職先を選べる！

⇒　日本を代表する多くの優良企業より指定校求人
⇒　一人一人に応じた進路あっせん。安心の人生設計

詳しい進路状況

⑤ 大学にも進学ができる！

⇒　数十校に上る指定校推薦
⇒　希望に応じて広がる選択肢

自分が成長できる学校

エコデンレース

いろんなことに
チャレンジ！

ロボット相撲全国大会会場

鉄道模型コンテスト

地域のイベントでも活躍中

オリジナルドレスでファッションショー

製図

めざせ！ものづくりのスペシャリスト！

総合募集
1年生

工科高校では1年生で工業に関する基礎的な科目を学びます。
ガイダンス科目「キャリアガイダンス」により、自身の興味・関心・適性に応じた系や専科を選択できるようになります。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
1年	国語総合				日本史A		数学Ⅰ			科学と人間生活		体育			保健	コミュニケーション英語Ⅰ		美術Ⅰ		専門科目									(学)キャリアガイダンス	LHR
																				工業技術基礎			情報技術基礎		電気基礎		(学)製図基礎			

（学）は学校設定科目です

産業創造系

3Dプリンター、ファッション

- 製品開発専科
- テキスタイルデザイン専科

P 5へ

機械系

設計、製図、加工、組立

- 機械技術専科
- 機械設計専科

P 6へ

電気系

電気、電子、コンピュータ

- 電気技術専科
- 電子制御専科

P 7へ

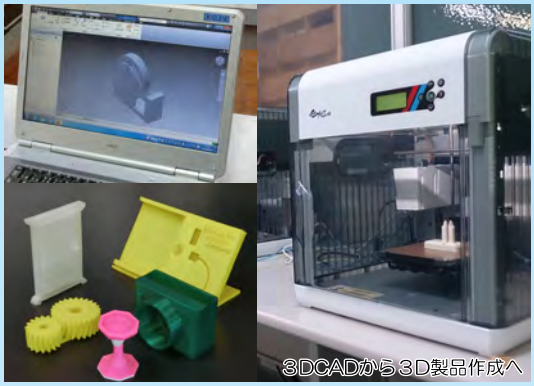
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
2年	現代文		世界史A		数学Ⅱ		物理基礎		体育		保健	コミュニケーション英語Ⅰ		家庭基礎		専門科目												総合探究		LHR	進学対応自由選択
																実習						専門座学									数学A
3年	国語表現		現代社会		数学Ⅱ		体育		コミュニケーション英語Ⅱ／英語会話		専門選択Ⅰ		専門選択Ⅱ		専門選択Ⅲ	専門科目														LHR	進学対応自由選択
											物理 数学Ⅲ		数学B		(学)英語演習 数学Ⅲ	課題研究				実習						専門座学					(学)数学演習

産業創造系

製品開発専科

製品のプロトタイプ

木材加工作業


3DCADから3D製品作成へ

趣旨・目標

製品開発のプロセスや知的財産権などを学ぶ科目や、実習・課題研究を通じ、生徒の創造力を伸ばし、製品を開発・製作できる能力を育てるとともに、工業分野の加工技術を総合的に活用できる能力の育成を図る。

■各種工作機械の取扱い技術と、３ＤプリンタやＣＮＣ加工機などのＩＣＴを活用したものづくり技術を学習する。

■アイデアの発想法を学び、発案したアイデアから製品を完成させ、特許権や実用新案権の出願をめざす。

専門科目 （科目については変更する場合があります）

２年	製品開発Ⅰ	デザイン技術
	製品開発実習	
３年	製品開発Ⅱ	環境工学基礎
	産業財産権＊	工業管理技術＊
	デザイン材料＊	課題研究
	製品開発実習	

（注：＊印＝選択科目）

資格・検定 および コンテスト

- 色彩検定
- QC検定
- パテントコンテスト
- 各種ビジネスアイデアコンテスト

テキスタイルデザイン専科

ファッションデザイン作品

インテリアエレメント作品

捺染によるトートバッグ

捺染作業

趣旨・目標

デザイン技術やテキスタイルの加工技術などを学ぶ科目や実習・課題研究を通じ、生徒の創造力を伸ばし製品を開発・製作できる能力を育てるとともに、工業分野の加工技術を総合的に活用できる能力の育成を図る。

■デザイン技術を応用したテキスタイル製品をはじめとする幅広い工業製品の開発、製作加工技術を学習する。

■アイデアの発想法を学び、発案したアイデアから製品を完成させ、特許権や実用新案権及び意匠権の出願をめざす。

専門科目 （科目については変更する場合があります）

２年	製品開発Ⅰ	デザイン技術
	ﾃｷｽﾀｲﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ実習	
３年	製品開発Ⅱ	環境工学基礎
	産業財産権＊	デザイン史＊
	染織デザイン＊	課題研究
	ﾃｷｽﾀｲﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ実習	

（注：＊印＝選択科目）

資格・検定 および コンテスト

- 色彩検定
- デザインパテントコンテスト
- 毎日・DAS学生デザイン賞 銀の卵賞

機械系

機械技術専科

溶接

エンジン

鋳造

趣旨・目標

機械加工や機械制御についての基礎的な技術や技能を習得し、機械技術者として社会に貢献できる能力の育成を図る。

■製図、ＣＡＤ及び各種加工技術の基本から応用までを学習する。ＮＣ工作機械等のプログラミングや操作技術を習得するとともに、制御技術についても学習する。各種の加工技術を用いて、作品の加工、組立から完成をめざす。

■技能士（旋盤２・３級、機械検査）ＪＩＳ溶接技能者評価試験等の高度な国家試験やガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育等の資格取得をめざす。

専門科目

２年　機械製図　機械設計
　　機械工作　機械技術実習

３年　機械製図　機械設計
　　機械工作＊　生産システム技術＊
　　原動機＊　自動車工学＊
　　環境工学基礎＊　工学演習＊
　　課題研究　機械技術実習

（注：＊印は選択科目）

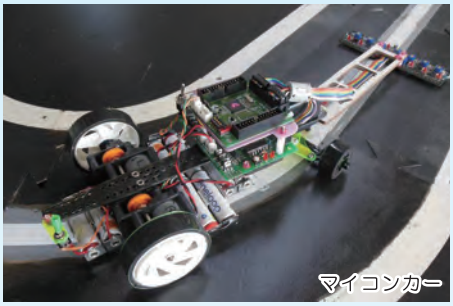
取得しやすい資格・検定

- ガス溶接技能講習
- 基礎製図検定
- 機械製図検定
- 危険物取扱者
- アーク溶接特別講習
- 技能検定

その他多数

機械設計専科

CAD


マイコンカー

フライス盤

趣旨・目標

機械設計に関する知識、技術・技能を習得し、機械技術者として社会に貢献できる能力の育成を図る。

■機械に関する設計製作を通して機械の基礎から応用までを学習する。製図、ＣＡＤ及び各種加工技術の基本から応用までを学ぶ。電気・電子及び空圧を利用した機械制御について基礎から応用まで学習する。

■技能士（旋盤２・３級、機械検査）ＪＩＳ溶接技能者評価試験等の高度な国家試験やガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育等の資格取得をめざす。

専門科目

２年　機械製図　機械設計
　　工業数理基礎　機械設計実習

３年　機械製図　機械設計
　　機械工作＊　生産システム技術＊
　　原動機＊　工業管理技術＊
　　環境工学基礎＊　工学演習＊
　　課題研究　機械設計実習

（注：＊印は選択科目）

取得しやすい資格・検定

- ガス溶接技能講習
- 基礎製図検定
- 機械製図検定
- 危険物取扱者
- アーク溶接特別講習
- 技能検定

その他多数

電気系

電気技術専科

趣旨・目標

電気の基礎的な理論と技術を習得し、電気技術者として社会に貢献できる能力の育成を図る。

■電子回路から特別高圧の取扱いまでの電気技術を幅広く学習する。

■多様な発電システムについて学習し、実習や課題研究を通して電気をつくりだす技術を習得する。

■コンピュータのハードウェアについて学習するとともに、ネットワーク技術とプログラミング等のソフトウェアについても学習する。

専門科目

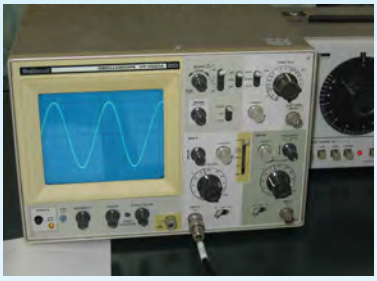
２年	電気基礎	電気機器
	電気技術実習	
３年	電力技術	電気製図＊
	課題研究	ハードウェア技術＊
	電気技術実習	（注：＊印は選択科目）

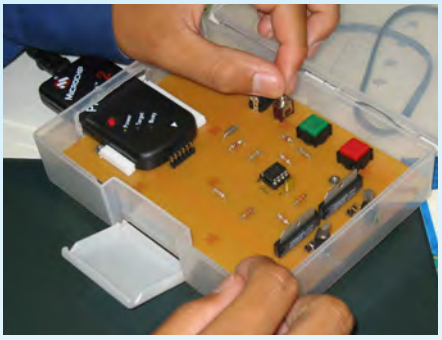
取得しやすい資格・検定

- 電気工事士
- 危険物取扱者
- 第三種電気主任技術者
- 情報技術検定

その他多数

電子制御専科





趣旨・目標

自動制御技術が発展する現代社会において、電気制御の理論と技術を習得し、電気技術者として社会に貢献できる能力の育成を図る。

■制御の基本からＰＬＣ（コンピュータプログラミングにより定められた順に従って逐次実行する）制御技術まで幅広く学習し、電気機器を最適に制御できる能力を育成する。

■電子部品の構造と原理について学習するとともに、基礎的な電子回路の設計・製作からマイクロコンピュータを用いた制御技術の応用までを学習する。

■家電機器や産業機器の構造や原理について学習し、故障診断・修理技術を身につける。

■家電ネットワークや産業機器に関するネットワーク等の通信技術について学習する。

専門科目

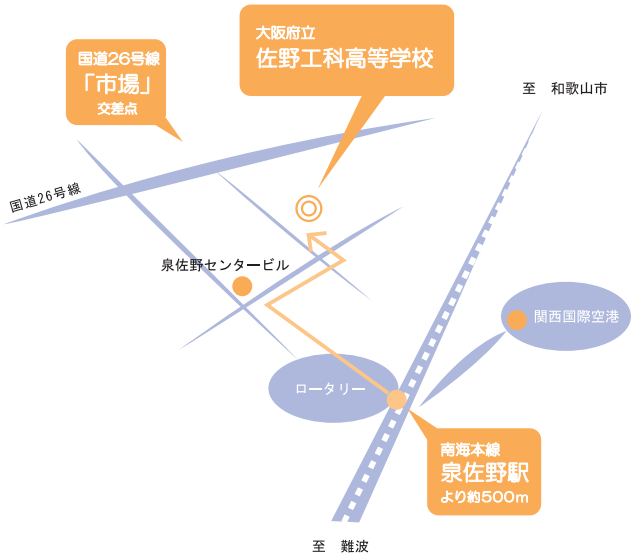
２年	電気基礎	キャリア実現
	電子制御実習	
３年	電子技術	電子計測制御＊
	通信技術	プログラミング技術＊
	課題研究	ハードウェア技術＊
	電子制御実習	（注：＊印は選択科目）

取得しやすい資格・検定

- 電気工事士
- 特殊無線士
- 危険物取扱者
- 工事担任者
- 情報技術検定

その他多数

佐野工科高等学校の制服
令和2年度入学生より



大阪府立佐野工科高等学校

〒598-0012 大阪府泉佐野市高松東１-３-５０

TEL:　０７２（４６２）２７７２
FAX:　０７２（４６１）２３６２

https://www.osaka-c.ed.jp/sano-t/

(2020年3月作成)